

## SERIES 明日のスポーツをめざして 1

## 岩手県ラグビーフットボール協会 会長 白根 敬介

昭和2年旧岩手中学校(現岩手高校)で岩手県に初めてラグビーフットボール競技が導入されて以来83年となりました。当初は盛岡中心でラグビーチームは少数でありましたが、その後昭和20年代から県下各地で高校、大学、クラブ、社会人のチームが誕生いたしました。

又、昭和45年の岩手国体を機にラグビースクールの創設などラグビー競技の普及とともにラグビー人口が増加をしたところでもあります。顧みますと昭和45年の岩手国体の優勝をはじめ盛岡工業高校の全国高校選手権優勝2回、黒沢尻工業高校の全国高校選手権準優勝2回、岩手大学の地区対抗大学選手権優勝3回、新日鐵釜石の前人未到の全国社会人選手権の7連覇等ラグビー岩手の全盛期でありました。現在はラグビー競技の急速な変化の中で今一歩成果が上がらない状況にあります。

この状況の中で6年後の平成28年に開催されます2巡目岩手国体に向けて岩手県ラグビーフットボール協会が一丸となり総合優勝に向けて選手の育成・強化に向けて組織の強化を図っている所であり、ラグビー王国岩手復活に向けた21年度からの岩手県ラグビーフットボール協会運営方針を定めたところでもあります。

〔目的〕岩手県におけるラグビーフットボールの中核機関となり、競技の健全な発達及びその普及を図ること

## 〔重点目標〕

1. 平成28年の二巡目岩手国体開催に向けての育成・強化又長期展望に立ち普及活動を図る。
2. 本会の運営及び事業を円滑に推進するために、収益及び協賛事業の拡大を図る。
3. 社会人、ジュニア、自治体、企業が一体となったクラブの充実を図り、更なる競技力向上を目指す。
4. 岩手全体のラグビーレベルアップの為に、レフリー、コーチの更なる育成を図る。
5. 試合における安全対策の指導を強化し、事故防止に努める。

以上の事を運営方針として平成28年の岩手国体総合優勝を目指しております。

更には平成31年の日本でのラグビーワールドカップ開催、オリンピック種目に採用されました7人制ラグビー及び小学生のタグラグビーの普及育成、女子ラグビーの創設等各種事業を充実発展させる為、岩手県教育委員会、岩手県体育協会等とも十分連携を取りながら目的を達成出来ますよう努力をしてみたいと思いますので皆様方のご指導ご支援を宜しく願います。

